

思い出の我が母校

新冠中学校

新冠中学校の変遷



創立：昭和22年5月12日
位置：新冠町字北星町21-2
区域：町内全域



昭和40年頃の旧校舎(中央町)

- 昭和22年：新冠中学校が現在の中央町に設置される。同時に、節婦、比宇(現美宇)、滑若(現若園、泉、新栄)にも分校ができる。
- 昭和23～24年：新冠中学校元神部(現東川)分校、太陽分校、去童(現朝日)分校が設置される。
- 昭和25～26年：節婦中学校が新冠中学校より独立し、比宇、元神部、太陽が節婦中学校の分校となる。また、滑若中学校が独立する。
- 昭和27年～28年：比宇、元神部、太陽が節婦中学校より独立する。また、去童が新冠中学校より独立する。
- 昭和29年：字地名改正により、美宇中学校、東川中学校、若園中学校、朝日中学校と校名を改称する。
- 昭和31年：明中学校が開校される。
- 昭和36年：町制施行となり町内8中学校が全て村立から町立となる。
- 昭和44年：美宇、東川、太陽中学校に通っていた生徒が門別町立厚賀中学校に統合される。
- 昭和49年：節婦、朝日、若園、明中学校が統合し、新しい校舎での新冠中学校で学校生活をはじめめる。
- 平成7年：厚賀中学校に通う新冠町在住の生徒(共栄、東川、美宇、新和、太陽、里平、大狩部の一部の生徒)は新冠中学校に通学する。
- 平成18年：このときの生徒数は185名

小竹町長の動静 & まちのできごと 12月・1月 ●は町長出席

12月 ● 3日、日高新ブランド研究会例会(新ひだか町) ● 6日、日高軽種馬振興対策推進協議会臨時総会(新ひだか町) ● 9日、東川小学校閉校記念式典 ○ 10日、例月出納検査 ● 13日、70歳以上ひとり暮らしふれあい年越会 ● 14日、第4回定例会(～19日) ○ 25日、入札 ● 26日、日高中部(広域連合、消防組合)定例会(新ひだか町) ● 28日、新冠消防団年末特別警戒陣中巡視

1月 ● 7日、新冠消防団・新冠支署連合出初式 ● 8日、町政懇談会(～11日) ● 13日、町教育賞・教育奨励賞贈呈式、成人式 ● 15日、北海道競馬改革ビジョン推進委員会幹事会 ● 17日、農業サミット ○ 17日、例月出納検査 ● 21日、新しい支庁の姿(原案)に関する意見交換会(浦河町) ● 25日、北海道競馬改革ビジョン推進委員会幹事会(日高町) ● 31日、固定資産評価審査委員会

人のうごき (平成20年1月末現在)

人口	5,982人	(前月比 - 11人)
男	2,921人	(前月比 - 7人)
女	3,061人	(前月比 - 4人)
世帯	2,599世帯	(前月比 - 6世帯)
外国人登録者	34人	

